



# 日本海を越えていく



## 一生懸命が感動を生む

校長 沼崎 幸治

夏休みはどう過ごしましたか？

私は朝晩の愛犬の散歩を日課にしながら、冷房の効いた部屋で寝そべり、オリンピックや甲子園など、スポーツ観戦に気持ちだけは熱くなって過ごす時間が多かったです。

世界中が熱狂したオリンピック。左腕を負傷し、痛みと闘いながらも銅メダルを獲得した、女子卓球の早田ひな選手。最後まであきらめずに逆転で金メダルを勝ち取った男子体操団体戦。14歳、堂々とした演技で世界を魅了したスケートボード吉沢恋選手…数え上げれば切りがありません。また、その一方で、大きな期待を受けつつも残念ながらメダルに届かず、悔し涙を流した選手も多かったです。



炎天下での甲子園。今年は低反発バット(打球が飛ばないバット)の導入で、例年見られる豪快なホームラン、大味な点の取り合いのゲームは少なかったものの、その分、ロースコアの投手戦が多く、中でも公立高校の頑張りが印象的でした。また、選手を応援するアルプススタンドも選手と一体となって叫び、踊り、ともに喜び、泣き、相手チームの健闘を讃える姿にすがすがしさを感じました。

多くの感動をもらいましたが、これらに共通していることは何でしょうか。いろいろあると思いますが、私は「一生懸命」な姿だと思います。勝ち負けのいずれかの結果が着いてしまいましたが、どの選手もオリンピックや甲子園という大舞台で自分の力を発揮するために「一生懸命」頑張ってきたことでしょう。そしてその選手を支えるコーチを始めとするスタッフ、チームメイト、家族など、関係する大勢の人も「一生懸命」に関わってきたことでしょう。

だからこそ、大きな感動が生まれるのです。一生懸命頑張ったからこそ、一生懸命応援したからこそ、勝っても負けても感動できるのです。感動はしようと思ってもできません。感動の涙は、心のコップがうれしさや悔しさ、辛さなどの気持ちがいっぱいになってこそあふれ出てくるものです。

さて、夏休みが終わり、今度は私たち粟島浦小中学校が感動のドラマを作る番です。休み明け早々から運動会に向けての練習が始まりました。すでに、夏休み前から準備していることもあります。これから運動会に向けて練習やパネルの仕上げ、係活動などが一気に加速していきます。

オリンピックや甲子園に負けなくらい、熱い熱い運動会になることでしょう。そして、島中を感動の渦に巻き込んでくれることを期待しています。私たち学校職員も、全力で子どもたちを支えていきます。

保護者の皆様、地域の皆様もご支援よろしくお祈りします。

## 保護者の皆様の声から

～令和6年度 新規留学生・保護者様の感想から～

2年前初めて家族で粟島のタコ獲り大会に参加して粟島を知りました。帰り際に娘が「この島に住みたい！」と何気なく放った言葉が今現実となっています。心を躍らせながら始まったしおかぜ留学、初めは寂しさで泣き通しの日々が続き、親子で思い悩む事が多かったですが、寮母さんや先生、島民の方々のおかげで乗り越える事ができました。ありがとうございます。今では牧場活動や学校行事、イベントなど楽しい事ばかりで、毎日を有意義に過ごしている様子が娘の話を聞く度に伝わります。そして、行き交う人達と挨拶し会話をしている姿や、食べられなかったトマトを食べられるようになり、幅広い友達との交流など4ヶ月経った今、娘の沢山の成長を感じています。また来島の度に、寮母さんや先生方、島民の方々の沢山の愛情を感じます。温かい人たちと自然豊かな環境、支え合える仲間、そして大好きな馬達と過ごすこの時間は娘にとって人生における最も貴重な時間となることと思います。（小学校保護者様より）



娘が小学3年生の時にテレビで知った「しおかぜ留学」。何かかけがえのない体験をさせたいと考えており、動物が大好きな娘にこの話を伝えると「すぐに行きたい！」との声。早速島に行くと、牧場の発表会を見ることができました。堂々としたお兄さんお姉さん達を見て親子で驚いたことを覚えています。

そして、5年生となり留学することができました。目標を持って、達成に向けて努力することの大切さを親子ともに学びました。島に来て4か月程ですが、本当にたくさんの体験をさせていただき一回りも二回りも成長した娘の姿を感じ取ることができます。これもひとえに、教育委員会、学校、係わってくださる全ての皆様からのご指導・ご鞭撻によるものと考えています。ありがとうございます。



2学期以降もたくさんの行事があると思いますが、彼女らしくこれからも成長できることを願い、見守っていきたいと思います。（小学校保護者様より）



4月に娘が粟島生活を無事にスタートし、あっという間に4か月経過。一学期を終えて今思うことは、時間が経つのがどれだけ早いかということです。小学校3年生だった彼女がテレビ番組で紹介されていた「しおかぜ留学」に熱烈に恋をし、「中学生になったら絶対に粟島で暮らしたい！」と目を輝かせた日が昨日のこのようです。「光陰矢の如し」…きっと目をつぶってまた開けたら、次は成人してしまっているかもしれません。

学校、寮生活、馬のお世話。毎日すべてに全力で取り組んでいる娘を誇りに思いますが、何よりもそれを支えてくれている島の人々に感謝しながら、仲間たちとの代えがたいキラキラした瞬間を噛みしめて生活してもらいたいと思います。（中学校保護者様より）

「あそこに見える島で全国から子どもたちを募集していますよ。」  
当時宿泊していた宿の仲居さんに聞いた言葉がきっかけとなり、息子も私も粟島を初めて知った。常日頃から島で生活したいと話していた息子。とりあえず書類だけ提出してみようかと軽い気持ちで応募した。あれよあれよと書類選考と面接を通過し、入学式前日となった。フェリーに乗船する為岩船港に着くや否や、先



輩から「明日からよろしく。野球好きなんですよ。野球しよう。」と声をかけて貰えた。不安でしかなかったが、先輩の一言で息子を安心して粟島へ送り出せると思った。その後、順風満帆な学生生活を送っているかと思っていたが、電話をもらう度、悩みを多く耳にした。彼なりに悩んでいた。同時に先生からも連絡を頂いた。その際には彼が私に言わない事も聞く事ができた。私に気を遣い言わなかったんだらうなと思い心苦しかった。時が経ち、終業式後、フェリー乗り場に現れた彼はちよっぴり成長し、逞しく、かっこよく見えた。これから先、一人では解決できない事も出てくるだろう。しかし彼には多くの仲間がいる。その仲間達と共に乗り越えていってほしい。そして、冬休み帰省時にはもっともって成長し、逞しくなった姿を見せてくれると確信している。(中学校保護者様より)



しおかげ留学が始まり数か月、連絡がない日の方が心配になるくらい、ほぼ毎日の様に電話をしてきました。最初のころは不安からなのか反抗的な態度を取ったり、ただ声を聞くために電話をしてきたりしましたが、夏休みが近付くころには学校や牧場、友だちの話を少しずつしてくれる様になりました。また、メールや電話で子どもの様子を教えてくださるので、私の知らなかった娘の新たな一面を知ることができました。それは留学していないと分からなかった事だと思えます。夏休み前、娘が「成長しているから楽しみにしていてね」と言っていました。会って本当にその通りだと思いました。一人では成長できません。お世話になっている方々、自然、動物たち、すべてに感謝の気持ちでいっぱいです。子どもたちが幸せでいられる事は、親としてこの上ない喜びです。(中学校保護者様より)



留学前はモジモジして恥ずかしがりやなところがありましたが、今では、自分の意見を言えるようになって、自分に自信がついたと思います。中学生が、慣れない離島で、家族と離れて寮で生活できただけでもすごいことだと思います。子供たちは楽しめて伸び伸び成長でき、島に来てよかったです。鳥の鳴き声を聴きながら登校したり、散歩したり、季節の植物を見たり、馬の世話をしたり、魚をいただいたり、食べたり、毎日自然に触れ季節を感じながら過ごすことができましたが、何より一番は島の方々のやさしさと温かさでした。学校生活も少人数ならではの活動や季節の行事、地域の方々との交流などとても貴重な体験をさせてもらいました。先生方も丁寧に向きあってくださり、お友達と一緒に楽しく通うことができました。今は、ただ楽しい！島が好き！というなかなか説明できないようなものだったとしても、この1年間で経験したことは必ずこの先の人生を豊かにしてくれる大切な財産になったことは間違いありません。(中学校保護者様より)



## 立派な発表でした。～わたしの主張村上・岩船地区大会から～

8月21日に村上情報センターで「新潟県少年の主張大会・わたしの主張村上・岩船地区大会」が開催されました。各校から選ばれた代表者が発表する中、当校の代表として中学校3年生の生徒が「人種差別」について、堂々とした態度で自分の考えをしっかりと会場の方々に伝えてくれました。発表後、会場は大きな拍手に包まれました。そして、見事、奨励賞に選ばれました。慈さん本当にお疲れ様でした。



## 準備万全！2学期の始まりを待っていました ～夏休み中の様子から～



子どもたちのいない夏休みの学校は本当に寂しいものです。校舎を回ってみても、教室や廊下はし～んとしていました。しかし、校舎から見る粟島の絶景は本当に美しく、感動してしまいます。

こんな暑い中でもひまわりや野菜が大きく育っていました。そこには、用務員さんがトマトやさつ

まいもの畑、ひまわりなどの花、木々に水やりを欠かさずに行っていました。また、メダカのお世話をし、運動会に備えてグラウンドの草刈りに大量の汗をかき準備し、皆さんが戻ってくるまで、しっかりと学校を守っていました。学校に児童生徒の明るく元気いっぱいの姿が戻った今、運動会を皮切りに大きく花開く2学期がスタートしました。



## 9/7(土)は、粟島浦小中学校大運動会です ～運動会の開催に向けて～

9月に入ると、待ちに待った粟島浦小中学校の一大イベントである大運動会がやってきます。今年の運動会スローガン「打ち上げろ！個性の花火を この粟島の空に」のもと、子どもたちは毎日全力で準備しています。このグラウンドいっぱいに子どもたちの輝く姿が見られるかと思うと、今から本当に楽しみです。当日は、子どもたち28名の個性



～保護者の皆様・村民の皆様へ～  
令和6年度大運動会の御案内

○期日:令和6年9月7日(土) 8:00～11:40

○場所:粟島浦小中学校グラウンド

※雨天の場合は、翌日8日(日)に順延します。

※8日(日)が雨天の場合は、体育館で実施します。



溢れるはじけるパワーを是非御参観ください。

～保護者の皆様へ～

34日間という夏休みが終わり、2学期が始まりました。夏休み期間中、大きな事故や問題もなく、子どもたちが元気にスタートできることに感謝申し上げます。まだまだ残暑が厳しい日々が続きますが、熱中症対策等、万全にしてお子さんが安心・安全のもと全力で取り組める環境を全職員でつくっていきます。これからも御支援と御協力をよろしくお願いいたします。